八幡製鐵所は漸く作業を開始したり

職工、職夫、人夫等一萬二千名の入所
罷工氣分尚ほ容易に去らず
時々喊聲を揚げ不穏の狀あり

前後二晝夜に亙りて殆ど工場閉鎖の狀態に陷り九日の定期就業も如何ならんと氣遣はれたる八幡製鐵所も漸くにして九日午前六時に至り職工九千名、職夫二千五百十七名、受負人夫三百八十六名合計一萬二千名近くの勞働者入所し構内七十の全工場は大體に於て復舊平常の狀態に就かんとす（八幡電話）

二工場職工集團
警戒巡査の手で鎭撫
腫物に觸るやうな感

各工場内を通じて機關機械の運轉は開始され轟々たる響きの聞ゆるとともに五百の煙突よりも漸次に平常の如く黑煙を吐かんとしつゝあるも職工側にありては兩三日來の所謂罷工氣分又は怠業氣分全く消滅せしといふにあらずして、何れかと言へば是等の情勢に捉はれて一種名狀し難き不穩の空氣は漂ひ居れり作業開始後約一時間を經たる午前七時頃又もや平鋼工場、鍛冶工場の二箇所に就業せる職工數十名は集團して突然鬨の聲を揚げ不穩の擧に出でんとしたるが構内警戒の巡査數十名驅け附け同九時半に至りて漸く鎭撫し得たり又販賣部に屬する機關車七臺は過激なる運轉手三名の煽動脅迫を受け容易に運轉するに至らず怠業狀態に陷らんとしつゝあり、當局側は恰も腫物に手を觸るゝが如き感をなしつゝありされど表面再び工場を閉鎖して就業中なり製鐵所當局は「氣味惡るき程眞面目に作業し居りて殆ど罷業前と異ならず」と稱し居れるも記者の目撃したる所にては依然其大半は怠業狀態を持續し居たり（八幡電話）

恢夜に二三時間の假睡も取れず疲勞の極に達し居りて不平を抱く者もありて中には差別撤廢を叫べる者がありと、尚ほ是等警戒者に對しては製鐵所公餘俱樂部より炊出しをなし一食分千二百個の辨當を作り居れりといふ（八幡電話）

煽動教唆者も入所
憲兵巡査の目が光る
檢事正等構内にて取調開始
勞友會員今後の方針打合せ

九日朝作業開始と共に罷業の煽動教唆に幾分關係したりと思はるゝ職工をも入所作業に從事したるより六日以來八幡に出張し居れる福岡地方裁判所安達檢事正は平田豫審判事、小倉區裁判所一色、兒玉兩檢事其他の判檢事とゝもに此處ぞと許り大擧して製鐵所構内に出張各工場を巡視し同所内高等官食堂に陣取り關係者一同を召喚し訊問取調を行ひ居れり、職工等は巡査憲兵等が各工場を間斷なく巡視し鋭の目鷹の眼にて警戒し居れるより却て仕事も手につかず人心猶ほ緩和すべくも非ざる有樣なり一方製鐵所側の回答に接したる友愛會八幡支部にては誠意なき回答なりとし今後更に結束を固め勞友會最初の目的貫徹の爲め努力すべく九日勞友會本部と種々打合をなし今後の方針を定めたりと、因に職工勞働以來騷擾のため八幡に來着せる[illegible]の任に當り居れる福岡縣下各警察署警官及び憲兵八百餘名の内巡査部長及び憲兵伍長等には辨當も折詰にてその内容も整ひをれど一般の巡査憲兵は竹皮包の握飯二つ三つにて迚も空腹を滿たし能はず寢具も十分ならざるより

白仁長官歸任す

製鐵所事件につき白仁長官は頗る事態を樂觀し新聞電報は過大にする者の報道なりなど稱し居たるが要求に對して長官の回答は一般職工に滿足を與へざるものゝ如く形勢再び險惡となれるより急遽七日午後七時東京驛發列車にて任に歸任せり（東京電話）

狀況視察

宮田陸軍兵器工廠長、横山大阪陸軍兵器工廠提理は朝鮮よりの歸途九日朝八幡製鐵所構内を視察し具さに今回の罷工の狀態を視察したるが横須賀海軍工廠長山中中將も八日午後四時同視察したり（八幡電話）

今後の警戒如何
製鐵所中川次長
〔長官へは就業狀態を電報して〕と長官の歸任を知らぬ顏に語る

中川製鐵所次長は罷工勃發以來晝夜極めて多忙の時間を割き九日は稍沈着きたる態度にて『實に今回は世間を騷がして濟ませぬでしたが然し今九日の朝から豫期の通り全工場の作業を開始しました、さうして勞働者は受持の各工場に就業して居ります、無論今日以後は以前の如く作業する事を得ると信じます、白仁長官へは生産狀態復舊の緒に就きました事は未だ電報して居りませぬが今九日正午電報でお知らせする心算りでした、今後の警戒の事を憲兵隊及び警察署へ願つて置きました、其警戒に就ては目下當局と何にも話つて居りませぬが何れ今明兩日の經過と狀態を見た上でなければ依然警官の派遣を願ふか或は撤退をして貰ふか判りませぬ云々』（八幡電話）

更に又一機出發す
羅馬から東京指して

更にカプロニー式飛行機一臺オリツギー及びネグリニ兩中尉搭乘して東京に向け出發せり爾餘の飛行機數臺は多分五日頃當地を出發すべし（國際羅馬二日發）

羅馬東京間大飛行は第四機で打切り？
一機づゝ順次に東京へ乘込む
上海駐在伊國領事の談

羅馬東京間大飛行の壯擧に關し駐日伊國大使館と打合せの爲め上海より長崎經由八日午後下關着東上したる上海駐在伊國領事コルキセク氏の談に依れば

過般東京に向ひ羅馬を出發したる先發機カプロニー式一機は六日上海に着し、又最後の第四機は七日羅馬を出發したる筈なり而して最初の計畫たるカプロニー式五機スヴァ式三機の八機の飛行豫定は遂に諸種の事情の爲め實現するを得ずして今回は七日羅馬を出發したる第四機を以て其最後とすべし、又東京乘込みに就いて其前に當つて豫め北京又は京城に於て勢揃ひをなしたる上乘込むべしとの説あるやうなるが是は決定的のことにあらず、今日迄の情報に依れば一機々々順次東京に乘り込むべしと思はる尚ダヌンチオ氏は目下の狀態にありては迚もフユーメを去り難き事情にあるのみならず若し同氏にして同地を去らんか又復一大騷擾の持ち上らんとも限られざる場合にあれば同氏の同乘飛行は殆ど絶望的のものと見て差支なからん云々

故李太王殿下一周年祭
德壽宮に執行

李王殿下御親祭の下に故李太王一周年練主移奉祭を八日夜より九日にかけ德壽宮にて行はれたるが之を機として何事かを計畫せる全道の儒生京城に入込み當夜多少不穩の模樣見えたれども其筋の嚴重なる取締に依り何等の事故發生せず無事終了したり（京城電報）

東伏見宮殿下 軍艦多摩の進水式に台臨の東伏見宮殿下には豫定の如く九日午後五時五分着列車にて長崎驛へ御着、直に自動車に召させられ大波止に成らせられ海軍ランチにて御旅館なる三菱造船所占勝閣に入らせらる

渡邊長崎縣知事は早岐驛迄出迎へ長崎驛には官民有志學生等多數奉迎せり

尚ほ當日入港の軍艦安藝、薩摩、香取は皇禮砲を發射せり（長崎電報）

財部鎭守府長官 は海軍大臣代理として長崎にたける軍艦多摩の進水式參列の爲め九日古賀副官を從へ岡田艦政局長と共に同地に出張せり（佐世保電報）

島村軍令部長 は軍艦多摩進水式參列の爲め長崎に出張の途次八日來保艦月旅館に一泊したるが九日小林鎭守府參謀長の案内にて海路大村灣に赴き水雷發射場を視察の上大草より上陸長崎に向へり（佐世保電報）

陪審必要決議
宮崎辯護士會の答申

宮崎縣辯護士會に今回司法大臣の諮問に係る陪審制度否に關し協議する所ありたるが結局之が必要を認むる旨の決議を爲し近く答申すべし（宮崎電報）

●株式後場手口

…日運安藤の…
…乘換の賣り石井、藤田に德田の乘換…乙部の乘株は總じてマバラ商…
二十八圓臼銀三十一圓門司築港福利…十四圓臭を唱へゝありたり

▲前後場手口 …